

emole、総額約 2.6 億円の資金調達を実施

アプリ DL 数 50 万回、SNS 総再生回数 4.6 億回超のショートドラマアプリ「BUMP」で
エンタメ業界の新しい市場を創り出し、クリエイターへの利益循環を加速

1 話 3 分のショートドラマアプリ「BUMP」を手掛ける emole 株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役：澤村直道、以下、emole）は、計 6 社のベンチャーキャピタル [千葉道場ファンド、サムライインキュバート、D4V（Design for Ventures）、朝日メディアラボベンチャーズ、ココナラスキルパートナーズ、アドウェイズ・ベンチャーズ 以下、VC] を引受先とする 2.6 億円の第三者割当増資（プレシリーズ A ラウンド）を実施しました。シードラウンドの調達額とあわせて、これまでに累計 3.1 億円を調達しています。今回の資金調達によりアプリユーザーの拡大と、クリエイターが参画しやすいプラットフォームへの進化を加速させ、emole がビジョンとして掲げる「創造で挑戦できる世界へ」を早期に実現します。



■ 資金調達の背景

2022 年 8 月に行ったシードラウンドの資金調達により、ショートドラマ配信アプリ「BUMP」は、2022 年 12 月末にローンチすることができました。アプリのローンチ後約 8 ヶ月経過し、アプリは 50 万 DL を超え、App Store の全体ランキング（無料 App）ではノンプロモーションながら最高で 3 位を記録しました。また、TikTok など SNS 上で公開しているプロモーション用ショート動画の総再生回数は、約 4.6 億回まで増加しています。

今回の資金調達では、ショートドラマコンテンツの制作と公開サイクルを早めるための体制構築（採用強化 + 外部パートナー拡大）と、アプリ UI/UX 強化、プロダクト開発体制強化に充当します。これにより、良質なドラマコンテンツをより没入感のある視聴体験としてユーザーにお届けし、1 話毎の有料課金や広告視聴を積極的に促し、クリエイターへの利益循環の強化・クリエイターエコノミーの構築を目指します。

< 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 >

emole 株式会社 PR 担当：浦田（ATARU PR, inc.） koji.urata@ataru-pr.com

■ ドラマ制作領域でのマネタイズはエンタメビジネス全体で大きな課題

一般的にドラマ制作は、VLOG などワンオペレーションで制作できる動画と比べてコストがかかります。クオリティを求めると制作スタッフや出演者は数十人体制、機材は合計で数百万円、撮影は複数日にまたがるのは当たり前で、制作したコンテンツを通してマネタイズができる手段は映画上映の興行収入やスポンサーとのタイアップなどに限定されます。

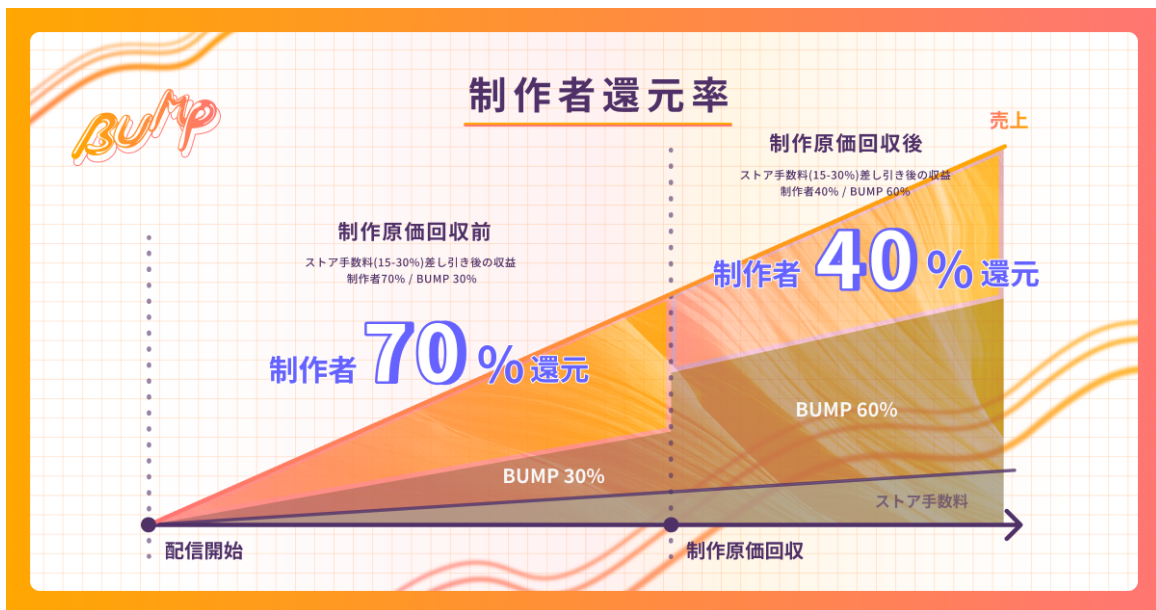
YouTube など動画プラットフォーム上で広告収入を得るには、更新頻度を保ち、ユーザー登録を促進し、視聴回数を稼ぐなどの手法が有効ですが、ドラマというフォーマットでこれを実現させるのは困難です。

■ 「BUMP」のビジネスモデルと、なぜクリエイターに還元されるのか？

ショートドラマ配信アプリ BUMP は、「制作原価」の回収前後でクリエイターに支払う報酬体系が変わります。制作原価を回収するまでは、1話 67 円の課金収入や、広告視聴によって得られる広告収入からストア手数料を差し引いた利益の 70% をクリエイターに還元します。回収以降も 40% を還元する仕組みを取ることで、クリエイターは安心して次の作品づくりなど、新たな創造的な活動に挑戦することができます。

こうした収益還元体系を整備することで、emole とクリエイターは一蓮托生の関係性を構築することとなり、emole および BUMP は制作費分の利益を早期に回収するという短期目標に全力を注ぎます。結果としてドラマ作品をヒットさせることが事業繁栄の生命線となり、より面白く幅広いユーザーに響くコンテンツが世の中にあふれます。

※還元率や体系は 2023 年 8 月時点のものであり、今後変更する可能性があります。



■ 今後の展開予定 : emole が目指すクリエイターエコノミーの在り方

経済的な還元だけでなく、「コンテンツづくり」のノウハウをクリエイターと共有するコミュニティプログラムを構築する予定です。コミュニティでは、流入元や離脱率など、アプリに蓄積されたトラフィックデータを共有します。クリエイターは自らコンテンツを分析し、ヒットから逆算したドラマ制作の PDCA を回すことができるようになります。これにより各クリエイターの作品が安定的にヒットする環境が創出され、収益だけではなく、創造に挑戦する仲間づくりや、自ら手掛けた作品がヒットする喜びなど、感情面での報酬も

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

emole 株式会社 PR 担当 : 浦田 (ATARU PR, inc.) koji.urata@ataru-pr.com

クリエイターに還元します。emole は「創造で挑戦できる世界へ」というビジョンの実現に向けて、まずは自社から挑戦を続けます。



■「創造で挑戦できる世界へ」とともに実現する仲間たちからのコメント

▼過去 BUMP でドラマ作品を制作した実績のある監督（一部）

■山元 環 監督



代表作：夫婦が壊れるとき

「今日も浮つく、あなたは燃える。」のようなオリジナル作品を作るチャンスが BUMP にはあります、アイデアと共感されるビジョンさえあれば。私の場合第一弾ということで BUMP の代表作を作る気概で原作、脚本、監督、編集まで一手に担い挑戦したので、ショートドラマで「面白い」に挑戦するなら BUMP がオススメ！

■かとう みさと 監督



代表作：少年のアビス, わたしの夫は—あの娘の恋人—

BUMP で 1 本 4 分ほどの短編ドラマの連載をやるにあたって、キャッチーで無駄のない作品を作るといふ新しい挑戦がとても新鮮でした！

1 ユーザーとしても BUMP の作品をいくつか拝見しましたが、どれも気軽に観られて満足感が得られるので、映像をより身近に感じられる、時代に合った素晴らしいコンテンツだと改めて感じました。

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

emole 株式会社 PR 担当：浦田（ATARU PR, inc.）koji.urata@ataru-pr.com

■村上 リ子 監督



代表作：THE NOTES

2.6 億円調達おめでとうございます！

去年、社員たったの4人でアプリを開発しながら、自社でオリジナルコンテンツを9作品製作していて、覚悟と気合いに度肝を抜かれました。

私も emole の皆さんと作った監督・脚本作「Fridge」で、映画祭で賞をいただきました！

これからも最強のメンバーと BUMP で世界を変えていってください！またご一緒しましょう！

■柳 明菜 監督



代表作：いなくなれ、群青, クールドジ男子

なんて熱くて、動画に希望を持った若者たちなんだろう…でも無謀だ!!

初めて Bump の代表の澤村さんとその妹のリサに会った時の印象です。

関わったら危険だなあと…。

でも、気づくとその熱意に引っ張られ、ドラマ制作を始めていました。

関われば関わるほど、なんて魅力的なチームなんだろうと思わずにはいられない。澤村さんの熱量とヴィジョン、そしてリサのコンテンツへの愛情とマニアックさ、その吸引力に引き込まれるように集まってくるキラキラした若者たち。

無知さや経験不足もエネルギーでカバーし、数ヶ月後にはちゃんと制作会社兼、アプリ会社に成長していました。すごい！私自身、刺激と学びをいつも頂いています。強烈なドラマ愛、猛スピードで世界中から吸い上げているノウハウ、純粋で真っ直ぐで熱いチーム。Bump がうまいかないと、日本の動画業界に希望が持てないぞ！

そう思わずにはいられない存在。

これからも応援しています。

最高のドラマを創っていきましょう！

■柴田 海音 監督



代表作：ばんばんざい /「ラテ」MV, YouTube Shorts Challenge #ショートな青春

資金調達おめでとうございます。撮影では限られた環境や時間の中でも、代表の澤村さん自ら先陣を切って現場を仕切ってくださっている姿がとても印象的でした。澤村さんは人を巻き込み、行動に移す力が本当に素晴らしい方です。これからもっと沢山の人を巻き込みながら、大きく成長していくのではないかと思います。応援しています！

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

emole 株式会社 PR 担当：浦田 (ATARU PR, inc.) koji.urata@ataru-pr.com

▼今回出資を決定していただいた VC 担当者

■千葉道場ファンド 共同パートナー 石井 貴基



シードステージから応援している emole 社に今回も追加投資させていただきました。

ちょうど 1 年前にシードラウンドのリリースがあったのですが、当時はリリースもされていなかった「BUMP」がこの 1 年で多くの人々を巻き込むプラットフォームに成長したことが何より嬉しく感じています。

今後もショートドラマを軸に、多くのユーザーに感動をお届けし、映像制作に関わる全ての皆様にとって夢を描ける大きな事業に成長することを祈念しております。

千葉道場ファンドとしても最大限ご支援してまいりますので、頑張ってください！

■株式会社サムライインキュベート Vice President 坪田 拓也



前回ラウンドに引き続き、今回ラウンドでも追加投資させていただきました。前回調達以降、

「BUMP」をリリースして App ランキングで上位掲載され、SNS 上でも絶大な再生数を誇るコンテンツを創出するなど、新しいエンタメ体験を創出する会社として大きくパワーアップしたことを実感しています。

澤村さん率いる emole チームがこれからもより多くのファン、クリエイターを巻き込んでより大きなムーブメントを起こすことに期待し、引き続き支援してまいります。

■D4V (Design for Ventures) Partner 太田明日美・Analyst ゴーマン蒼



emole チームの勢いとキーステークホルダーを巻き込む力、次世代ドラマ配信プラットフォームを通じてクリエイターエコノミーを加速させるという強い思いに魅かれ、出資させていただきました。Z 世代を中心に人気急騰中の BUMP のコンテンツや実装機能に表れるユーザー解像度の高さは、容易に達成できるものではありません。



澤村さんとこのチームならば、日本から世界に向けたコンテンツ発信をリードする存在に emole を成長させていけると信じています。「ショートドラマと言えば BUMP」と世界で呼ばれるような確固たるポジションを築くまで、D4V としてプロダクトやグローバル展開などについて多面的にご支援しながら、共に歩ませていただきます。

■朝日メディアラボベンチャーズ株式会社 パートナー 山田正美



コミックが出版から webtoon へ。映画・テレビが動画配信サービスへとビジネスの主戦場が変わり、それに伴いコンテンツの形も変化してきました。ドラマ・映像コンテンツもショート動画時代に合わせた新しい形にアップデートが進んでいます。BUMP がこの新しい映像コンテンツの時代を牽引していくのを楽しみにしています！

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

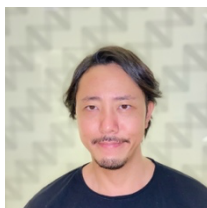
emole 株式会社 PR 担当：浦田 (ATARU PR, inc.) koji.urata@ataru-pr.com

■株式会社ココナラスキルパートナーズ 代表取締役 南 章行



スマホがもたらしたコンテンツ消費行動の変化によりあらゆるエンタメが“ショート化”している中、ドラマの領域において本丸になるのではないかと期待しているのが emole 社です。クリエイターや消費者ふくめた業界構造をアップデートしていく未来をココナラスキルパートナーズとしても応援していきます。

■株式会社アドウェイズ・ベンチャーズ 取締役 舘野 間兵



短尺動画の潮流は言わずもがな、BUMP はそのコンテンツ消費の体験とビジネスモデルが非常にユニークで、漫画アプリのような UX・マネタイズと、ギフトینگ・クラファンを絡めたプロセスエコミーのハイブリッドなプラットフォームとして 更にはその収益をクリエイターへ循環させる仕組みが秀逸です。我々もユーザー獲得におけるマーケ支援とメディアとしての広告収益化の部分でサポートさせていただきます。

▼「BUMP」を手掛ける emole 代表

■株式会社 emole 代表取締役 澤村 直道



プロダクトもコンテンツもない時から多くの方に支えられ、人脈もなく、右も左もわからない中で、地道に一つ一つの壁の乗り越え、やりたかったことのほんの一部がやっと形になってきたなという感覚です。大変な状況の中でも多くの方に身を削って支えていただけたことで、ここまでたどり着くことができました。BUMP というプラットフォームは、芸能界の構造的な不を解消し、クリエイターを経済的に豊かにすることで、エンタメ市場に大きな変革をもたらすと確信しています。大きな挑戦ですが、ワクワクしながら、これからもたくさん仲間たちとこの冒険を楽しんでいけたらと思っています。

■BUMP について

マンガアプリのように楽しめる 1 話 3 分の新しいドラマ配信アプリです。ユーザーは、待てば無料で楽しむことができ、有料課金や広告視聴でもドラマを楽しむことができます。地上波では見られないようなラブコメディから復讐系、アクションまで様々なジャンルの短尺ドラマを配信しています。

アプリダウンロード URL : <https://app.adjust.com/12nidiws>



■emole について

社名 : emole 株式会社

所在地 : 東京都目黒区下目黒 2 丁目 2 3 - 7 日栄ビル 1 階

設立 : 2018 年 11 月 15 日

代表者 : 代表取締役社長 澤村 直道

資本金 : 134,888,754 円

会社 URL : <https://emole.co.jp/home>

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

emole 株式会社 PR 担当 : 浦田 (ATARU PR, inc.) koji.urata@ataru-pr.com